

## コロンビア政治情勢（5月分）

### 1 概要

#### 【内政】

- 2日 モラレス候補の立候補辞退
- 5日 E L Nとの和平交渉開催地の決定
- 8日 真相究明委員会委員の任命
- 10日 国連人権理事会の普遍的・定期的レビュー（UPR）による対コロンビア審査
- 12日 カウカ川流域における広域洪水の危険
- 27日 大統領選挙結果
- 30～31日 決選投票に向けた各党及び元候補者の支持

#### 【外交】

- 9～14日 サントス大統領の欧州外遊（於：ドイツ、ハンガリー、イタリア及びスペイン）
- 24日 オルギン外相とカサス米州機構選挙監視ミッション・リーダーの会合
- 29日 メンドーサ外務省多国間担当次官の第42回アンデス外相理事会出席（於：ペルー）
- 30～31日 サントス大統領の欧州外遊（於：フランス、ベルギー及びスイス）

### 2 本文

#### 【内政】

##### 1 モラレス候補の立候補辞退

2日、モラレス大統領候補（ソモス党）が大統領選挙への立候補を辞退する旨発表した。同候補は、全国選挙評議会（CNE）が、ソモス党が受け取ることのできる選挙資金の前渡し金払出しを妨害し、大統領選挙キャンペーンを継続するだけの資金がなくなったことを辞退理由の一つに挙げた。また5日、ドゥケ候補への支持を表明した。

##### 2 E L Nとの和平交渉開催地の決定

5日、コロンビア政府和平交渉団及びE L N和平交渉団は、新たな和平交渉開催地をキューバに決定し、中断されている第5回和平交渉を7日の週より開催する旨発表した。また14日、E L Nは大統領選挙が実施される5月27日前後にあたる5月25日午前0時から30日午前0時の間、一方的一時停戦を実施する旨発表した。

### 3 真相究明委員会委員の任命

8日、サントス大統領は、真相究明委員会で活動する11人を任命した。同委員会の委員長はデ・ルー神父が務める。サントス大統領は、半世紀に及んだ紛争下の重大犯罪の真相究明を担う同委員会の役割を強調した。

### 4 国連人権理事会の普遍的・定期的レビュー（UPR）による対コロンビア審査

10日、国連人権理事会の普遍的・定期的レビュー（UPR）の対コロンビア審査が行われた。UPRの審査はジュネーブで実施され、2016年のFARCとの和平合意が特筆された。一方、コロンビアの社会的指導者や人権活動家に対する脅迫及び殺害が行われている状況に強い懸念が示し、同国に保護措置を講じるよう促した。

### 5 カウカ川流域における広域洪水の危険

12日、アンティオキア県北西部イトゥアング市で建設中の水力発電施設（Hidroituango、メデジン市の北部約170キロメートル）のダムで排水トンネルが決壊する事故が発生した。17日までにダムが決壊する危険があるとし、アンティオキア県知事、メデジン市長などが注意喚起した。ダムが決壊した場合、アンティオキア県北東部、コルドバ県東部、スクレ県南部及びボリバル県西部のカウカ川流域に重大な洪水被害が発生するおそれがあるとして、建設現場から約320キロメートル離れたボリバル県アチ市までに及ぶ複数の自治体で避難を実施した。

### 6 大統領選挙結果

27日、コロンビア大統領選挙の第1回投票が実施された。主な候補者の投票結果は以下のとおり。

1 ドウケ候補（民主中道党）

39.34%（761万6,857票）

2 ペトロ候補（「ペトロを大統領に」）

25.08%（485万5,069票）

3 ファハルド候補（「コロンビア同盟」）

23.78%（460万2,916）

4 バルガス候補（「#バルガス・ジェラスの方がいいね」）

7.3%（141万2,392）

5 デ・ラ・カジェ候補（「自由党・独立社会同盟連合」）

2.05%（39万6,151）

過半数を超える票を獲得した候補がいなかったため、6月17日、ドウケ候補（民主中道党）とペトロ候補（「ペトロを大統領に」）との間で決戦投票が実施される見込みとなった。

## 7 決選投票に向けた各党及び元候補者の支持

30日、自由党及び保守党はドウケ候補支持を表明した。PDA党はペトロ候補を支持する旨表明した。31日、ファハルド元候補は決選投票において白票を投じる旨表明した。また、デ・ラ・カジェ候補は自身の党とは一線を画し、白票を投じると述べた。

## 8 大統領選挙（決選投票）世論調査

CNC社（調査実施日：5月29～31日実施、全国（対象1,323名）、誤差±3%、信頼度95%）

ドウケ候補	55%
ペトロ候補	35%
白票	10%

### 【外交】

#### 1 サントス大統領の欧州外遊（於：ドイツ、ハンガリー、イタリア及びスペイン）

9～14日、サントス大統領は、欧州（ドイツ、ハンガリー、イタリア及びスペイン）外遊を行った。同外遊にはオルギン外相及びグティエレス商工観光大臣が同行した。10日、「サ」大統領はシュタインマイヤー大統領とバイ会談を行った。また、オルギン外相はマース外相と会談した。11日、「サ」大統領はハンガリーを訪問し、ヴィクトル首相、アーデル大統領及びハンガリー企業家らと会談を行った。同日午後、「サ」大統領はイタリアを訪問し、メルケル独首相とバイ会談を行った。さらに13日、「サ」大統領はスペインを訪問した。同訪問ではラホイ首相と会談し、イベロアメリカ地域の主要テーマに関する議論を行った。

#### 2 オルギン外相とカサス米州機構選挙監視ミッション・リーダーの会合

24日、オルギン外相は、カサス米州機構（OAS）選挙監視ミッション・リーダーと会合した。同ミッションの派遣は、コロンビア政府の要請によるものであり、79名の選挙監視に係る人員が派遣される予定である。

#### 3 メンドーサ外務省多国間担当次官の第42回アンデス外相理事会出席（於：ペルー）

29日、メンドーサ外務省多国間担当次官は、オルギン外相の代理として第42回アンデス外相理事会に出席した。同理事会で2018～2019年の期間の議長国がペルーからエクアドルへ受渡された。

#### 4 サントス大統領の欧州外遊（於：フランス、ベルギー及びスイス）

30～31日、サントス大統領は欧州（フランス、ベルギー及びスイス）外遊を行った。

同外遊にはオルギン外相が同行した。30日、「サ」大統領はフランス・ストラスブールを訪問し、タヤーニ欧州議会議長と会談した。同会談で同議長は、ベネズエラ移民の実態調査のための使節団を派遣する旨述べた。同日午後、「サ」大統領はパリに移動し、OECD正式加盟に係る署名を行った。また31日、「サ」大統領はベルギーを訪問し、モゲリーニ欧州連合外務・安全保障政策上級代表と会談した。同会談で同上級代表は、元FARC兵の社会統合のための社会経済プロジェクトに対し、1,500万ユーロの追加融資を発表した。さらに同日、「サ」大統領はストルテンベルグ北大西洋条約機構（NATO）事務総長と会談した。同会談では、コロンビアがNATOのグローバルパートナーとなる旨発表された。